

口永良部島

概況

火山性地震の発生回数は 123 回とやや多い状態が続き、地震活動はやや活発な状態で推移しました。

地震・微動活動の状況

A 型地震の回数は 1 日あたり 0 ~ 4 回で月回数は 62 回(10 月 : 41 回)、B 型地震は 1 日あたり 0 ~ 5 回で月回数は 61 回(10 月 : 47 回)とともに先月と比べ多くなりました(図 1 ~ 3)。振幅の小さな火山性微動を 3 回(10 月 : 1 回)観測しました(図 2、図 3)。

火口や噴気地帯の状況

11 月 26 日に海上自衛隊鹿屋救難飛行隊の協力を得て行った上空からの観測によると、新岳山頂付近から少量の噴気が上がっていました。また、新岳、古岳ともに前回(6 月 5 日)の上空からの観測時と、噴気等に変化は見られません(写真 1 ~ 4)。

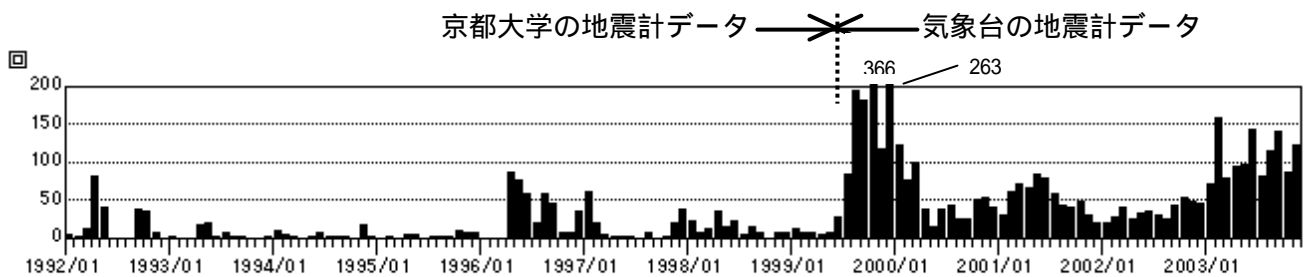
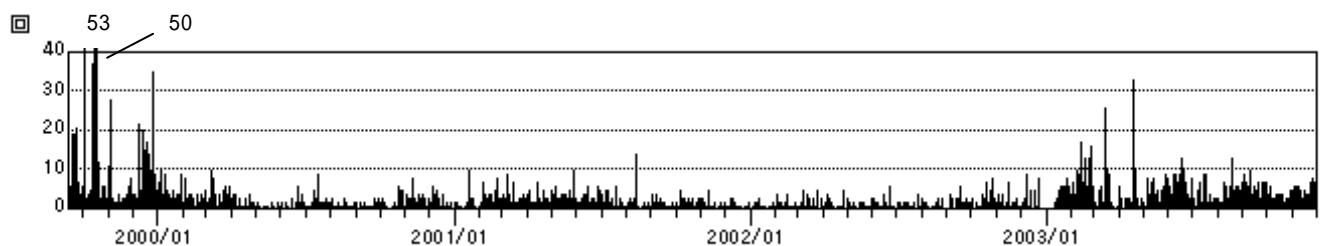


図 1 火山性地震の月別回数(1992 年 1 月 ~ 2003 年 11 月)
(1999 年 9 月 12 日までは、京都大学が口永良部島観測点の地震計で計数したデータを利用)

火山性地震の日別回数



火山性微動の日別回数

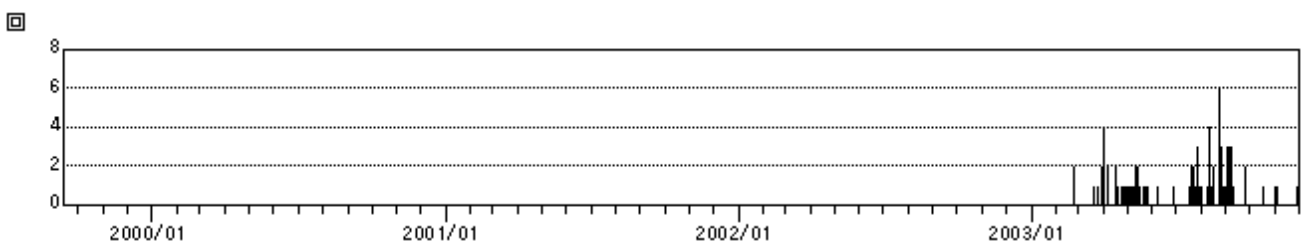
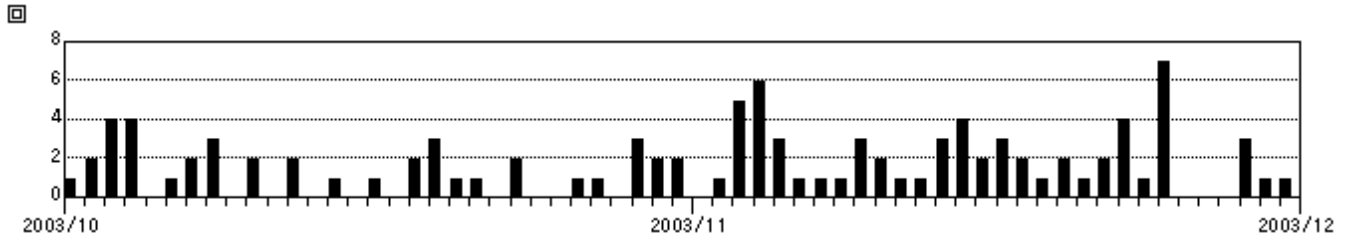
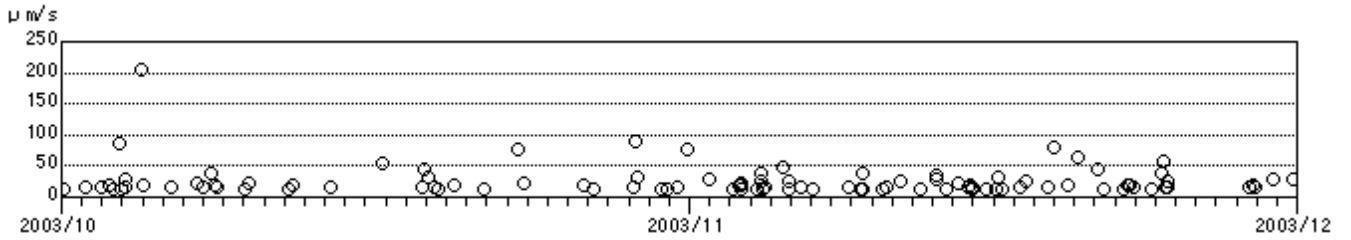


図 2 火山活動経過図(1999 年 9 月 13 日 ~ 2003 年 11 月 30 日)

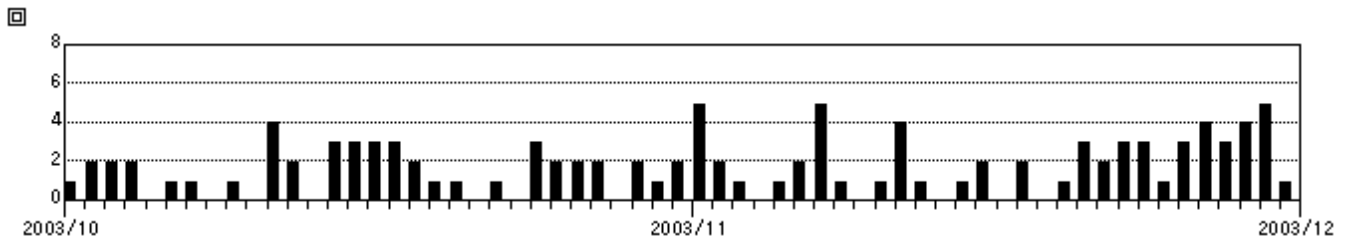
A 型地震の日別回数



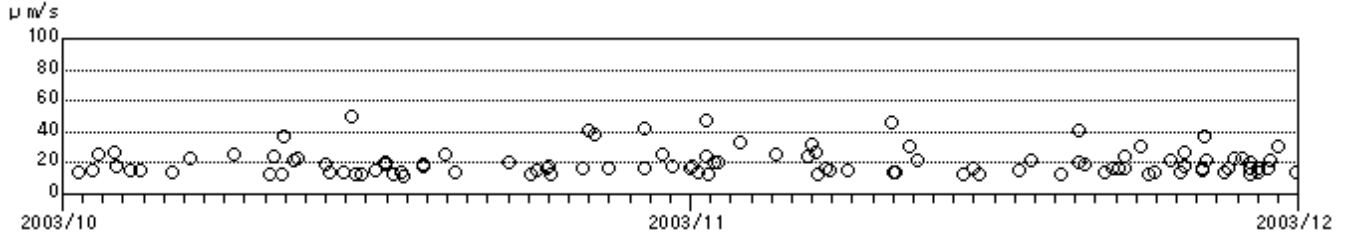
A 型地震の最大振幅(地震計 1 上下動)



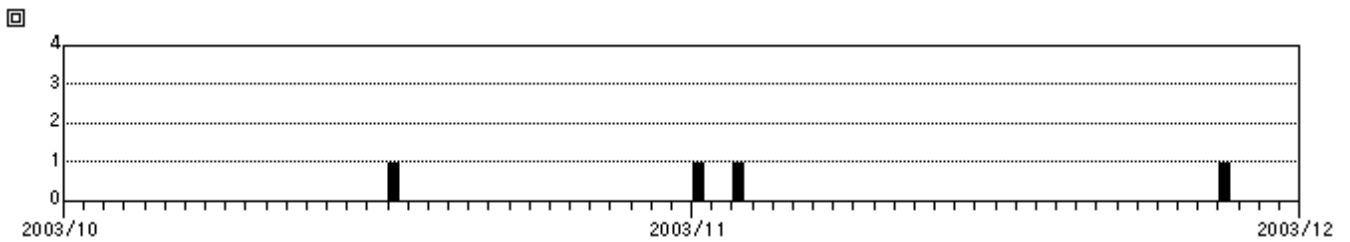
B 型地震の日別回数



B 型地震の最大振幅(地震計 1 上下動)



火山性微動の日別回数



火山性微動の最大振幅(地震計 1 上下動)

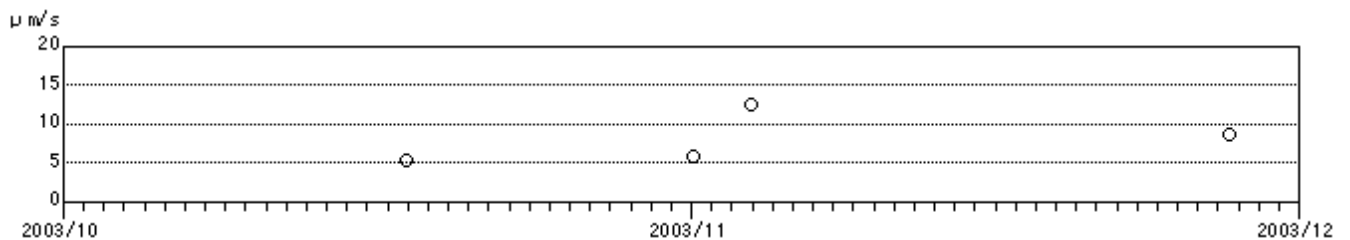
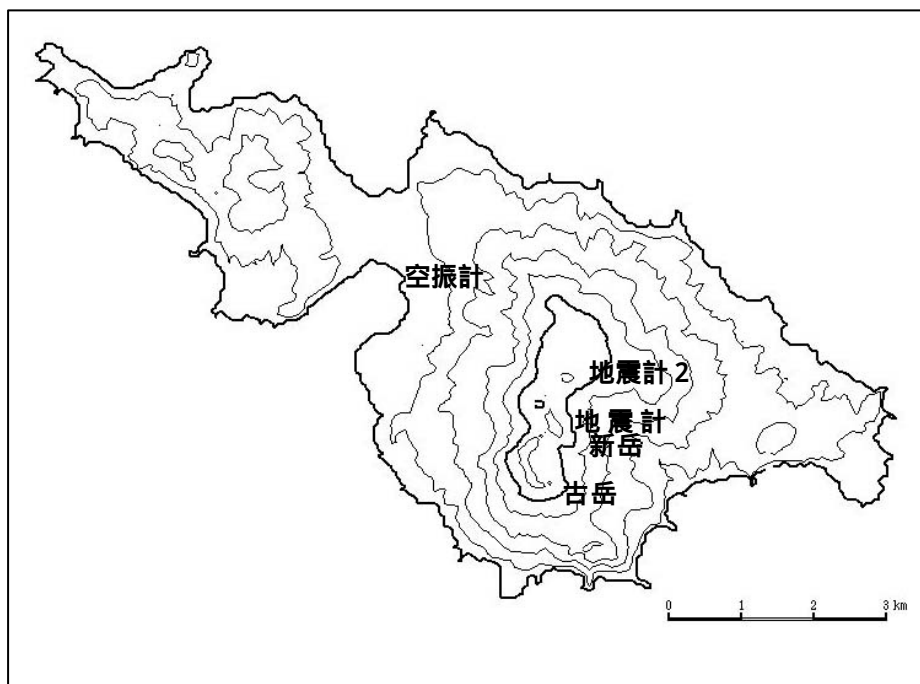


図 3 火山活動経過図(2003 年 10 月 1 日 ~ 11 月 30 日)



気象庁観測点
地震計(2点)
空振計

図4 観測点位置図

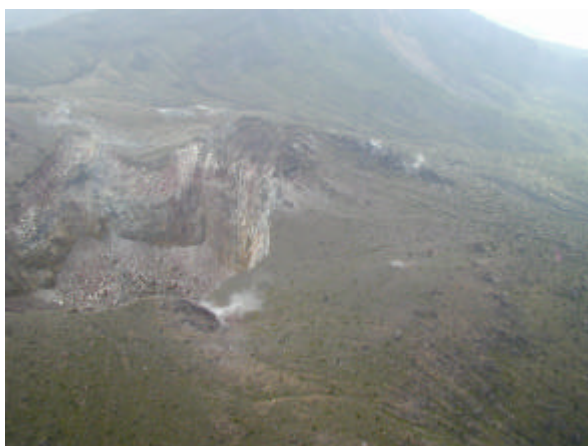


写真1 新岳山頂付近(北側から撮影)



写真2 新岳火口(北側から撮影)



写真3 古岳火口(北東側から撮影)

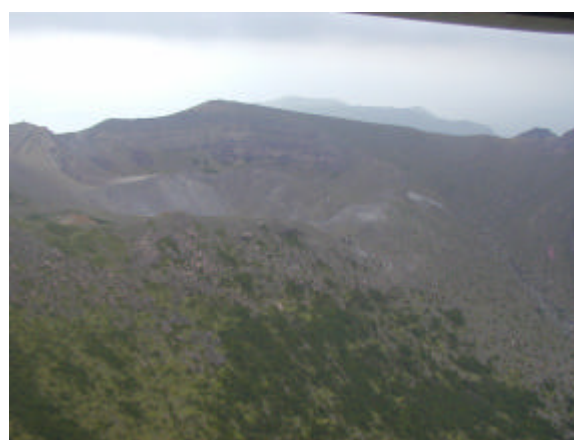


写真4 古岳前景(北東側から撮影)